

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 043	提案機関名 県央家畜保健衛生所
要望問題名 「かながわ鶏」の採卵鶏用飼料を用いた給与体系の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ・平成28年度から、県畜産技術センターで作出した「かながわ鶏」ヒナの生産農場への本配布がスタートするが、本県には今まで肉用鶏生産がほとんどなく、本鶏種に適した飼養管理技術の普及が課題として挙げられる。 ・現段階での生産農場は大雛導入の採卵鶏飼養農場などで、「かながわ鶏」の飼養羽数は小規模であることから、常時農場にある飼料を給与出来れば、低コスト、省力化につながる。 ・そのため、市販ブロイラー用飼料との生産性や肉質における差、それを考慮した上での最適な給与体系の確立に向けて、異なる様々な給与体系の違いが与える影響について検討していただきたい。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	肉用鶏の飼養管理技術については、出荷日齢、給与飼料が発育や肉質に及ぼす影響について検討し、データを収集しているところです。 給与体系の違いが与える影響については、かながわ鶏の特性を把握した上で、最適な給与体系を検討していきたいと思っております。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			